

# ヒエ品種 ゆめさきよ

## 早生で機械収穫できる低アミロース性ヒエ

### 来歴

低アミロース系統「ノゲヒエ」に $\gamma$ 線照射し、低アミロースで、早生、短稈系統を育成した。

### 育成のねらい

岩手県で栽培されている在来系統は通常アミロース含有率が多く、コメと混合炊飯すると粘弾性が劣る。また、低アミロース系統の「もじゃっぺ」は粘弾性に優れているが、長稈で中生のため、機械収穫に適さず、県北部では登熟できない場合もある。そこで、早生で機械収穫できる食味の良い低アミロース性品種を育成した。



ゆめさきよ ノゲヒエ 軽米在来(白)

表1 生態的特性と形態的特性

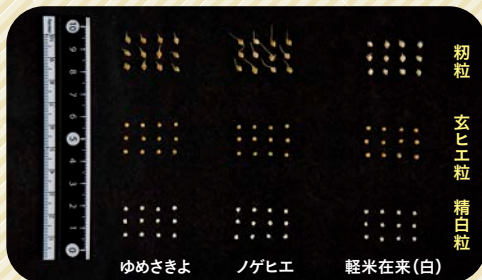
系統名・品種名	出穂日	成熟日	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )
ゆめさきよ	8月 5日	9月 9日	136	14.1	42.7
ノゲヒエ	8月12日	9月15日	165	16.0	33.5
軽米在来(白)	8月 6日	9月11日	150	14.1	51.8
長十郎もち	8月13日	9月17日	167	16.2	41.4



ゆめさきよ ノゲヒエ 軽米在来(白)

### 品種特性

親の「ノゲヒエ」に比べて、出穂期は7日早く、稈長は約30cm、穂長は約2cmほど短く、玄穀子実重は20%ほど低収である。アミロース含有率は、「ノゲヒエ」と同程度の11.3%で、低アミロース性のウルチ性ヒエ品種である。また、同熟期の「軽米在来(白)」と比べて、アミロース含有率は低く、稈長が15cmほど短く、玄穀子実重は12%ほど低収である。



ゆめさきよ ノゲヒエ 軽米在来(白)

表2 品質特性

系統名・品種名	玄穀重 (kg/a)	玄穀粗蛋白質含量 (%)	アミロース含量 (%)
ゆめさきよ	18.9	15.0	11.3
ノゲヒエ	23.0	14.3	13.2
軽米在来(白)	21.5	14.8	24.0
長十郎もち	23.3	14.7	0

### 栽培上の注意

親より短稈で耐倒伏性に優れているが、極端な密植栽培は避ける。同熟期の通常アミロース系統が隣接して栽培されたり、種子が混じっている場合には、自然交配により低アミロース性が損なわれる可能性がある。

品種登録の番号：第22559号 品種登録の年月日：平成25年4月18日

問い合わせ

**U**iwate  
**University**  
岩手大学

岩手大学農学部附属  
寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

滝沢農場

〒020-0611 岩手県滝沢市菓子1552  
TEL 019-688-4021 FAX 019-688-7032  
<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fsciu/noujou.html>

